

音川地区社会福祉協議会の状況

令和3年4月現在			設立年月	昭和18年4月	
会 長	清水 正之		副会長	若瀬 正雄	
事務局所在地	地区センター内・公民館内・その他（会長、事務局長宅等） ○をお願いします				
事務局TEL	469-2498	事務局FAX	469-2498	事務担当	村田 良紀
人 口	1,313 人	世帯数	487 世帯	高齢化率	40.0 %
当年度予算額	1,091,350 円	年間会費(1世帯)	200 円		
主な活動等	<p>1 一人暮らし高齢者と保育園児とのふれあい交流会</p> <p>保育所に一人暮らし高齢者を招き、七夕祭りやひな祭りなどでの交流を行う。コロナ禍においては、直接交流は困難な状況にあるので、園児が作った七夕飾りを、別の事業で一人暮らし高齢者宅を訪問した折に渡すことにとどめている。</p>				
	<p>2 配食サービス（年10回）</p> <p>70歳以上の一人暮らし高齢者を対象とし、民生委員や配達ボランティアを募り、毎月第1火曜日にお弁当を届けている。一人暮らし高齢者にとっては、世間話をする良い機会となっているようだ。</p>				
	<p>3 高齢者福祉推進事業（いきいきサロン年3回）</p> <p>全6地区を半分に分け、3地区でいきいきサロンを開催する。民生委員、地区委員や食生活推進委員の協力を得ながら行っている。コロナ禍においては、実施されていないのが現状である。</p>				
	<p>4 広報誌の作成（社協だより…年2回、地区だより…年6回）</p> <p>音川地区社協で活動したものを掲載し、地区に全戸配布している。社協だよりでは、毎回脳トレの問題を掲載し高評価を得ている。</p>				
	<p>5 音川住みよい地区づくり協議会の活動（年3回）</p> <p>「高齢になっても住み慣れた土地で暮らしたい」の願いを実現させるため、音川の様々な団体が集まり、どうしていけばよりよい音川地区になるかを協議している。</p>				
	<p>6 音川地区要支援者マップの作成（更新…随時）</p> <p>一人暮らし高齢者、高齢者世帯、障害者などの情報を一覧表と地図で表し、災害時に役立てられるようにしている。（個人情報に掲載されているので、配布先は関係団体長などに厳選している。）</p>				
会長のメッセージ	<p>音川地区では、高齢になっても住み慣れた土地で暮らしたいという願いを実現させるため、令和2年度に「音川住みよい地区づくり協議会」という地域包括ケアシステムを考える協議会を設立いたしました。高齢者のみならず地域住民全ての人々が安心して生活を送っていただけるよう、みんなで支え合っていきたいと願っております。</p>				